

大洗町第6次総合計画に基づく令和4年度事業評価 評価一覧

政策2  
一人ひとりを大切にするみんなが住みよいまちづくり

(R5.9月末時点)

| 施策No. | 施策名                     | 個別施策  | 重点 | 具体的な取組み                 | 評価 | 担当課         | (参考) R3d |
|-------|-------------------------|-------|----|-------------------------|----|-------------|----------|
| 2-1   | 自然と共生する循環型社会の形成         | 2-1-1 | ○  | 循環型社会の形成                | C  | 生活環境課       | C        |
|       |                         | 2-1-2 |    | 環境への負荷の少ない社会の形成         | B  | 生活環境課       | B        |
|       |                         | 2-1-3 |    | 自然と人との共生する社会の形成         | B  | 生活環境課、上下水道課 | C        |
|       |                         | 2-1-4 |    | 人と動物の良好な関係づくりの推進        | B  | 生活環境課       | B        |
|       |                         | 2-1-5 |    | 葬送環境の向上                 | B  | 生活環境課       | B        |
| 2-2   | 誰もが暮らしやすいまちづくりの推進       | 2-2-1 | ○  | 人にやさしいまちづくりの推進          | B  | 都市建設課       | B        |
|       |                         | 2-2-2 |    | 安心して住み続けられる魅力ある住環境の整備推進 | B  | 都市建設課       | B        |
|       |                         | 2-2-3 | ○  | 交流と移住定住の推進              | C  | まちづくり推進課    | B        |
| 2-3   | 雇用の安定確保と地域特性を活かした新産業の創出 | 2-3-1 | ○  | 若い世代が安心して就労できる環境づくり     | B  | 商工観光課       | B        |
|       |                         | 2-3-2 |    | 雇用・就業に向けた情報提供の充実        | B  | 商工観光課       | B        |
|       |                         | 2-3-3 |    | 企業誘致の推進                 | C  | まちづくり推進課    | C        |
|       |                         | 2-3-4 | ○  | 新産業の創出                  | C  | まちづくり推進課    | C        |
| 2-4   | みんなで作るまちづくりの推進          | 2-4-1 | ○  | 協働のまちづくりの推進             | B  | 総務課         | B        |
|       |                         | 2-4-2 |    | 国際化・地域間交流の推進            | B  | まちづくり推進課    | B        |
|       |                         | 2-4-3 |    | 男女共同参画社会の推進             | B  | 生涯学習課       | C        |
|       |                         | 2-4-4 |    | 平和意識の啓発推進               | A  | 総務課、学校教育課   | B        |
| 2-5   | 情報共有化の推進                | 2-5-1 | ○  | 情報発信の推進                 | B  | 秘書広報課       | B        |
|       |                         | 2-5-2 |    | 広聴活動の充実                 | C  | 秘書広報課       | D        |

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

|      |                 |             |
|------|-----------------|-------------|
| 施策番号 | 施策名             | 担当課         |
| 2-1  | 自然と共生する循環型社会の形成 | 生活環境課、上下水道課 |

|     | 施策 No. | 目標及び指標         | 基準値<br>(令和2年)         | 現状値(令和4年度) |           | 目標値<br>(令和6年) |
|-----|--------|----------------|-----------------------|------------|-----------|---------------|
|     |        |                |                       | 目標値        | 実績値       |               |
| KGI | -      | 一人当たりのごみ排出量の削減 | 1,400g/人日<br>(平成30年度) | 1,372g/人日  | 1,409g/人日 | 1,330g/人日     |
| KGI | -      | 生活排水処理率の向上     | 60.3%<br>(平成30年度)     | 65.1%      | 65.7%     | 66.3%         |
| KPI | 2-1-1  | 再生利用率(リサイクル率)  | 11.2%                 | 12.0%      | 11.1%     | 12.6%         |
| KPI | 2-1-3  | 合併処理浄化槽普及率     | 19.9%                 | 21.4%      | 19.5%     | 21.5%         |

| 施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D) |  |             | 評 価 |
|-------------------------|--|-------------|-----|
| 2-1-1                   | 循環型社会の形成   | 生活環境課       | C   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 環境負荷の低減を図れる新たなごみ処理施設の建設に向け、銚田・大洗広域事務組合と連携し、施設整備事業を進めている。また、ごみ袋の価格改定を行い、住民へ周知徹底、ごみの出し方の指導を行い、ごみ排出量の削減に取組んだほか、不法投棄の早期発見・対応を図るため、町内パトロール・監視カメラの設置など、不法投棄の抑制を図る取組みを実施した。今後も町内パトロールを行いながら、県の提供する通報アプリ等を活用し、捨てさせない環境づくりを進めていく。               |             |     |
| 2-1-2                   | 環境への負荷の少ない社会の形成  | 生活環境課       | B   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 県や関係機関と連携し、事業所の水質調査や、各家庭の井戸の水質調査を実施し、水環境の維持に努めた。今後も、環境の悪化を未然に防ぐ取組みとして調査・指導を進めていく。また、町の事務事業において排出される温室効果ガスの排出量削減のため、地球温暖化対策実行計画を策定した。<br>今後は、排出量割合の大きい電力使用量の削減を重点的に取組み、目標の達成を目指す。   |             |     |
| 2-1-3                   | 人と自然とが共生する社会の形成  | 生活環境課、上下水道課 | B   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 大洗地区涸沼浄化対策協議会、クリーンアップひぬまネットワークなどの関係団体や不法投棄監視員と連携し、定期清掃などの環境保護活動を行った。また、野鳥観察やハゼ釣りなどの環境学習会を行い、環境ガイドの育成に努めた。<br>また、公共下水道については、戸別訪問をはじめとした接続推進活動を実施し、対前年度比で接続率が1.12%上昇した。<br>今後も、公共下水道への接続及び合併浄化槽の設置推進を図るとともに、県と連携し適正な維持管理に向けた啓発活動を推進していく。 |             |     |

(次のページへつづく)

| 施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D) |   | 評価    |
|-------------------------|---|-------|
| 2-1-4                   | 人と動物の良好な関係づくりの推進  | 生活環境課 |
| 取組内容や今後の方針              | 茨城県動物指導センターと連携し、犬・猫の適正飼育に関する広報啓発を行うとともに、ボランティア及び動物愛護推進員が行う地域猫活動の取り組みに対する支援を行い、無秩序な繁殖を抑制し、公衆衛生の向上に努めた。<br>今後も関係団体と連携し、人と動物の良好な関係づくりを進めていく。 | B     |
| 2-1-5                   | 葬送環境の向上   | 生活環境課 |
| 取組内容や今後の方針              | 長寿命化計画に基づき、火葬炉の修繕等を行い適切な施設運営に取組んだ。また、町営墓地の鮫口地区の排水機能を修繕し、墓地利用者がご不便なく使用できる環境づくりを進めた。<br>今後も墓地・斎場利用者に良好な環境を整えるため必要な改修を行っていく。                 | B     |

| 審議内容(委員意見や質疑内容など) |   |
|-------------------|---|
| 2-1-1             | 委員:KGI「一人当たりのごみ排出量」が基準値よりも悪化しているが、その要因と対策は。<br>担当:当該 KGI は、家庭用ごみと事業用ごみの数値を合算して、町民一人当たりの排出量を算出している。令和 4 年度は、ごみ袋の価格改定などにより、家庭用ごみの排出量は微減したが、事業用ごみの排出量が 15%程度増加してしまった。今後は、事業用ごみの排出削減について取り組んでいく。<br>委員:不法投棄と同様、違法な建設残土についても、大きな問題である。町内にも建設残土が違法に廃棄されている実態がある。町だけでは対応が難しいと考えられるため、県や警察などと連携し、違法残土への対応と対策を協議してほしい。 |
| 2-1-2             | 委員:電気使用量の削減とあるが、具体的な施設などは考えているか。<br>担当:町有施設である、役場庁舎や学校、浄水場といった施設の電気使用量の削減に努めたい。   |
| 2-1-3             | 委員:KPI である合併浄化槽の普及率が減少した理由は。<br>担当:合併浄化槽から、公共下水道に移行した家庭があり、その分の数値が減少している。   |
| 2-1-4             | 委員:町内の動物保護ボランティアに対する支援などはしているのか。<br>担当:猫の去勢・避妊手術費用に対する助成として、県や動物愛護団体によるチケットの配布(令和 4 年度実績 195 枚)を行っており、手術に関してボランティア等の金銭的な負担はない。<br>委員:犬や猫の保護には、手術以外にも多くの費用がかかるため、金銭的な支援について検討してほしい。町だけでは対応が難しい部分も多いので、地域のボランティア等と連携することが、今後必要になってくると考える。   |

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

|      |                   |                |
|------|-------------------|----------------|
| 施策番号 | 施策名               | 担当課            |
| 2-2  | 誰もが暮らしやすいまちづくりの推進 | 都市建設課、まちづくり推進課 |

|     | 施策 No. | 目標及び指標                                  | 基準値<br>(令和2年)<br><small>(令和3年推計値)</small> | 現状値(令和4年度) |      | 目標値<br>(令和6年) |
|-----|--------|---|---|------------|------|---------------|
|     |        |   |   | 目標値        | 実績値  |               |
| KGI | -      | 各種施策の効果による、人口動態(社会増減)の改善(令和3~6年度の4年間累計) | -249人                                     | -          | -    | -136人         |
| KPI | 2-2-1  | 県道の拡幅改良率(大洗友部線歩道未整備区間(L=890m)の整備率)      | 0%  | 0%         | 0%   | 100%          |
| KPI | 2-2-1  | 公園長寿命化計画に基づく更新を必要とする公園施設の数(修繕率)         | 0%  | 0%         | 0%   | 30%           |
| KPI | 2-2-3  | 定住奨励金を活用した移住者数の累計                       | 14世帯                                      | 38世帯       | 52世帯 | 60世帯          |
| KPI | 2-2-3  | 空き家利活用リフォーム支援補助金を活用した件数の累計              | 0件  | 4件         | 0件   | 8件            |

| 施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D) |  |          | 評価 |
|-------------------------|--|----------|----|
| 2-2-1                   | 人にやさしいまちづくりの推進   | 都市建設課    | B  |
| 取組内容や今後の方針              | <p>通学路の危険箇所解消の一環として、県道大洗友部線未整備区間(L=890m)について、茨城県水戸土木事務所において現地説明会を開催し、早期の用地取得に努めている。</p> <p>また、公園施設長寿命化修繕計画に基づき、総合運動公園の改修に着手しており、今後も利用者のニーズを反映しながら計画的な維持修繕に取り組んでいく。</p>   |          |    |
| 2-2-2                   | 安心して住み続けられる魅力ある住環境の整備推進  | 都市建設課    | B  |
| 取組内容や今後の方針              | <p>大洗町公営住宅等長寿命化計画に基づき、予算を平準化した改修工事を推進し、施設の長寿命化を図ると共に、耐用年数を超過した住宅の用途廃止を推進し、適正な水準による住宅の維持管理に取り組んでいる。また、大洗町耐震改修促進計画に基づき、木造住宅の耐震診断・耐震改修及び危険ブロック塀撤去に関する補助制度の推進に取り組んでいる。</p> <p>今後も計画に基づき事業を継続して推進するほか、液状化ハザードマップを活用した事前防災の推進に取り組んでいく。</p> |          |    |
| 2-2-3                   | 交流と移住定住の推進   | まちづくり推進課 | C  |
| 取組内容や今後の方針              | <p>いばらき移住・二地域居住推進協議会や、いばらき県央地域移住・定住推進協議会と連携を図りながら、イベントやセミナーを実施した。今後も県の補助制度や町の補助制度の周知を図りながら、地域おこし協力隊と連携し取り組みを進めていく。</p>   |          |    |

(次のページへ続く)

| 審議内容(委員意見や質疑内容など) |  |
|-------------------|--|
| 2-2-1             | <p>委員: 県道の拡幅については現地説明会を実施し、公園については改修に着手しているため、進捗を考えると評価は B で良いと考える。しかし、目標値が、事業を完了しないとゼロになってしまうため評価が難しい。過程の取組を評価できるような指標が必要ではないか。</p> <p>委員: 通学路の危険箇所は、実際に歩いてみないと分からない。除草や清掃作業等とあわせ、効率的に点検することが必要ではないか。</p> <p>委員: 少子化が進んでいる現状において、学校と同じように、公園も地域ごとに統合していくことを考えるべきではないか。また、安全面を考えると、今後積極的に整備しない公園は封鎖も選択肢に含めるべきではないか。</p>  |
| 2-2-2             | <p>委員: 町営住宅について、長寿命化を考えると多額の修繕費がかかるため、需要と照らし合わせて考える必要がある。</p> <p>委員: 解体の検討にあたっては、古い町営住宅に入っている世帯を新しい町営住宅等に移ってもらうことが必要だが、どういった現状か。</p> <p>担当: 空いた棟から解体を進める考え。引っ越しには抵抗がある世帯もあるため、その費用に対する補助を用意している。</p>   |
| 2-2-3             | <p>委員: 定住奨励金を活用した移住者数は目標値をはるかに超えているため A に近い評価ができる。一方、空き家利活用リフォーム支援補助金の活用件数は0件のため C 評価となる。これらを踏まえてトータルで B という自己評価か。</p> <p>担当: 定住奨励金の目的は移住を促進するとともに人口流出を防ぐこと。活用者の内訳は8割が町内に住み続けていただく方で、2割が町外からの移住者であり、一定の効果が認められる。空き家利活用リフォーム支援補助金については、不動産会社・解体業者等に活用を呼びかけているが難しい現状。評価については委員ご指摘のとおり、全体の状況を踏まえ B 評価とした。</p> <p>委員: 空き家対策において、民間との情報共有はどうしているか。</p> <p>担当: 現在の空き家対策特別措置法では、空き家があった場合において個人情報をも民間に提供することについて明記されていないが、今年6月に空き家対策特別措置法が一部改正されたことにより、空き家所有者の許可があれば NPO 法人等との情報共有について明記されたため、追って示されるガイドライン等に準じて、民間との連携促進を図りたい。</p> <p>委員: 評価の基準として、一部取組めていないものを含む場合は C 評価とすることになっている。A に近い成果がでている部分があることは理解できるが、基準に則り、C 評価とすべきと考える。</p> <p>委員: 震災の直後と比較して、海のある生活に需要の高まりを感じる。町外からの移住者を獲得するためには、海の魅力を伝えることが重要ではないか。空き家対策においても、海に近いところから重点的にやってみては。</p> <p>委員: 空き家分野の KPI が0件であることを踏まえると、目標値まで段階的に評価できるよう、やはり現状では C 評価が適切ではないか。</p> |

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

|      |                         |                |
|------|-------------------------|----------------|
| 施策番号 | 施策名                     | 担当課            |
| 2-3  | 雇用の安定確保と地域特性を活かした新産業の創出 | 商工観光課、まちづくり推進課 |

|     | 施策 No. | 目標及び指標   | 基準値<br>(令和2年)                     | 現状値(令和4年度) |       | 目標値<br>(令和6年) |
|-----|--------|--|-----------------------------------|------------|-------|---------------|
|     |        |  |                                   | 目標値        | 実績値   |               |
| KGI | -      | 各種施策の効果による、25～29歳の人口動態(社会増減)の改善(令和3～6年度の4年間累計) | -22人<br><small>(令和3年度推計値)</small> | -          | -     | +50人          |
| KPI | 2-3-1  | Uターン就職者等の奨学金制度利用者数                             | 9人/年                              | 11人/年      | 11人/年 | 13人/年         |
| KPI | 2-3-1  | 創業セミナー受講者のうち創業した方(累計)                          | 1人                                | 6人         | 6人    | 9人            |

| 施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A～D) |   |          | 評価 |
|-------------------------|---|----------|----|
| 2-3-1                   | 若い世代が安心して就労できる環境づくり   | 商工観光課    | B  |
| 取組内容や今後の方針              | 就労人口の拡充を促進するため、水戸公共職業安定所をはじめとする関係機関と連携し、企業説明会やマザーズコーナーを開催するなど、若者や子育て世代が働きやすい環境づくりに努めている。創業希望者に対しては、引き続き、商工会と連携し支援の案内を行っていく。   |          |    |
| 2-3-2                   | 雇用・就業に向けた情報提供の充実  | 商工観光課    | B  |
| 取組内容や今後の方針              | 水戸公共職業安定所や個別に掲載希望のある企業から寄せられる町内の求人情報を町ホームページに掲載し、地域内就労希望者への情報提供の充実を図っている。引き続き、域内の就職面接会や就職支援情報を町ホームページや広報誌を通して発信していく。  |          |    |
| 2-3-3                   | 企業誘致の推進   | まちづくり推進課 | C  |
| 取組内容や今後の方針              | 学校跡地や大貫台などの町有地について、興味を持った企業からのアプローチに対し、資料の提供や現地案内を行うなどし、企業誘致に繋がるよう努めている。また、大洗マリーナの民営化(株)ユニマツプレシヤス)や大洗公園 P-PFI 制度の導入に向けて県と連携して取り組んでおり、引き続き、地域経済の活性化に繋がるような企業の誘致に努める。                           |          |    |
| 2-3-4                   | 新産業の創出  | まちづくり推進課 | C  |
| 取組内容や今後の方針              | 原子力関連施設が立地する本町の特性を踏まえ、JMTR(材料試験研究炉)の後継炉の設置や高速実験炉「常陽」における医療用 RI 製造の実現など、新たな産業の創出につながるよう、要望活動を実施した。<br>今後、国の目指す 2050 年カーボンニュートラルに向け、HTTR で製造される水素の活用に関する検討会を立ち上げ、町内における水素エネルギーの可能性について検討を進めていく。 |          |    |

(次のページへ続く)

| 審議内容(委員意見や質疑内容など) |   |
|-------------------|---|
| 2-3-1             | <p>委員:就労支援と空き家対策を結び付けて取り組んではどうか。</p> <p>担当:本町出身のUターン者で、空き家のリノベーションを専門としている方がいる。そのような方とも連携して取り組んでいきたい。</p>   |
| 2-3-4             | <p>委員:カーボンニュートラルの実現や、JAEA(国立研究法人 日本原子力研究開発機構)のHTTRが所在する町として、水素に関連する企業を誘致すべく、文科省や経産省への働きかけを強化しては。</p> <p>担当:町執行部と議会が連携し、これまで以上に要望活動などに取り組んでいきたい。</p> |

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

|      |                 |                          |
|------|-----------------|--------------------------|
| 施策番号 | 施策名             | 担当課                      |
| 2-4  | みんなでつくるまちづくりの推進 | 総務課、まちづくり推進課、生涯学習課、学校教育課 |

|     | 施策 No. | 目標及び指標                         | 基準値<br>(令和2年) | 現状値(令和4年度) |     | 目標値<br>(令和6年) |
|-----|--------|--------------------------------|---------------|------------|-----|---------------|
|     |        |                                |               | 目標値        | 実績値 |               |
| KGI | -      | 地域住民や地元企業などとの意見交換の場の創設         | 新規設定          | 1回         | 1回  | 毎年度実施         |
| KPI | 2-4-1  | 産官民の間でも連携を強化するため意思疎通ができているかを検証 | 新規設定          | 0          | 0   | 毎年度実施         |

| 施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D) |  |           | 評 価 |
|-------------------------|--|-----------|-----|
| 2-4-1                   | 協働のまちづくりの推進  | 総務課       | B   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 行政のみが公共サービスを担うのではなく、住民・団体・企業など地域の構成員が役割を分担することができるよう、取り組んでいく。それぞれがどのようなことでまちづくりに貢献していけるかを検討していく。以前より選挙公報については、町内会を通じて配布をお願いしており、参議院議員選挙及び県議会議員選挙の公報等もご協力いただいた。   |           |     |
| 2-4-2                   | 国際化・地域間交流の推進   | まちづくり推進課  | B   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 令和4年度は、コロナ禍で開催できなかった日本語教室を、対面で1度開催できたが、夏以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、オンラインでの開催となった。イギリスより来ている CIR においても、町内の学校の英語授業等や町のイベント等に積極的に参加し地域間交流を図っている。<br>今後も、地域住民と外国籍住民が交流を図ることが出来るよう、CIR の活動を含め、地域における国際交流を推進していく。                 |           |     |
| 2-4-3                   | 男女共同参画社会の推進  | 生涯学習課     | B   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた、町職員(主任級)を対象とする研修を実施し、男女共同参画の視点に立った意識の改革と慣行の見直しを図った。<br>昨年度に引き続き、男女共同参画社会の推進活動を目的として結成されたきらきら大洗ネットワーク研究会において、男女共同参画推進の情報誌を発行した。また、男女共同参画への関心と理解を深めるため、広報誌において周知するなど広報活動を行った。今後も、男女共同参画社会を推進していく。 |           |     |
| 2-4-4                   | 平和意識の啓発推進  | 学校教育課、総務課 | A   |
| 取組内容や<br>今後の方針          | 「大洗町平和大使派遣事業」を3年ぶりに実施し、町内の代表中学生9名を広島市に派遣した。原爆ドームや資料館等の見学、式典参列をとおして、平和について学んだことを、校内文化祭、壁新聞等を利用して保護者や地域の方々に発信することができた。<br>また、被爆者援護募金について住民課窓口で募金箱の設置協力を行った。<br>今後は、以前行った「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動などにも取り組んでいきたい。               |           |     |

(次のページへ続く)



| 審議内容(委員意見や質疑内容など) |  |
|-------------------|--|
| 2-4-1             | <p>委員:B 評価の根拠は。</p> <p>担当:目標の達成に向け、現在も取組みを進めている途中であると考え、B 評価としている。</p>   |
| 2-4-2             | <p>委員:CIR とは何の訳か。</p> <p>担当:国際交流員(Coordinator for International Relations)の訳である。学校で英語を教える ALT と同様の職種であり、国際交流員は地域のイベントに参加したり、地域での通訳として活動するなど、地域における国際交流を推進すること目的として活動している。</p> <p>委員:ALTとは違って、CIR が実際に英語を教えるなどはないのか。</p> <p>担当:直接的に授業を行うことはないが、学校のオンライン英会話に立ち合い、先生のサポートをしたり、祝町幼稚園に出向き、園児たちが遊びながら英語に触れあう機会の創出をサポートするなどの活動は行っている。</p> <p>委員:A評価でも良いように思うが、B評価の根拠は。</p> <p>担当:コロナ禍であり、地域での国際交流活動が思うようにできていないことも多かったため、B 評価としている。</p> |
| 2-4-3             | <p>委員:B 評価の根拠は。</p> <p>担当:去年は職員向けの研修を実施できたほか、町民向けにも広報誌での周知等を行ったため、B 評価とした。</p>   |
| 2-4-4             | <p>委員:参加した中学生の発表を映像化し、小学生に見てもらおうといった取組みの説明があったが、非常に良い取り組みだと思う。</p> <p>担当:将来的に、それを見た小学生が中学生になったときに、平和大使に参加するきっかけになるなど、この取り組みが繋がっていけば良いと考えている。</p> <p>委員:平和大使はいつから派遣しているのか。</p> <p>担当:約10年前から派遣を始めた(審議会後補足:平成27年度より参加)。当初は4名の派遣だったが、より多くの生徒に、平和について考える機会を与えられるよう、現在は参加人数を9名に増やして派遣している。</p> <p>委員:個人的な広島旅行で原爆ドームなどを見学した経験があるが、ぜひ多くの子どもたちに、現地を見て、感じてほしいと思う。</p>   |

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

|      |          |       |
|------|----------|-------|
| 施策番号 | 施策名      | 担当課   |
| 2-5  | 情報共有化の推進 | 秘書広報課 |

|     | 施策 No. | 目標及び指標                    | 基準値<br>(令和2年) | 現状値(令和4年度) |          | 目標値<br>(令和6年) |
|-----|--------|---------------------------|---------------|------------|----------|---------------|
|     |        |                           |               | 目標値        | 実績値      |               |
| KGI | -      | 必要な情報が得られていると思う住民の割合      | 新規設定          | -          | -        | 100.0%        |
| KGI | -      | 自分たちの意見が行政に届きやすいと感じる住民の割合 | 新規設定          | -          | -        | 50.0%         |
| KPI | 2-5-1  | 町政情報のホームページ閲覧数            | 154,511回      | 170,000回   | 140,654回 | 170,000回      |
| KPI | 2-5-2  | 広聴活動の仕組みや意見・提案の流れを周知する回数  | 新規設定          | 2回/年       | 0回/年     | 2回/年          |

| 施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D) |   |       | 評価 |
|-------------------------|---|-------|----|
| 2-5-1                   | 情報発信の推進   | 秘書広報課 | B  |
| 取組内容や今後の方針              | 広報紙について、年間総ページ数を272ページ(令和3年度)から322ページ(令和4年度)と増量し、紙面の見やすさと内容の充実を図ったほか、既存のツールとあわせ、LINEを活用した情報発信の運用を開始し、ユーザーの町政情報への即時性を重視した運営を図った。<br>また、情報公開請求に対しては、速やかな情報開示に努めた。 |       |    |
| 2-5-2                   | 広聴活動の充実   | 秘書広報課 | C  |
| 取組内容や今後の方針              | コロナ禍により、タウンミーティング等接触型の広聴活動については、令和元年度から実施できていない。町長への声(投書)、ホームページinfoで町政に対するご意見をいただいている。   |       |    |

| 審議内容(委員意見や質疑内容など) |  |
|-------------------|--|
| 2-5-1             | <p>委員: KPI「町政情報のホームページ閲覧回数」について、目標には達していないが、そもそもの設定時に高い数値を目標にしたため、現状の実績値でも従前に比べて高い数値と評価できる。今後も、自ら情報を取りに行くことが習慣化されるよう、取組を進めてほしい。</p> <p>委員: 情報公開請求は年間どの程度あるのか。</p> <p>担当: 年間約120件の情報公開請求がある。事業者が業務のために請求することがほとんどである。</p> <p>委員: 実績があるのであれば、取組内容にも記載したほうが良いのではないかと。(委員提言を受け、取組内容に追記)</p> <p>委員: 町公式LINEの運用が令和5年度から開始しているが、発信される情報が多く、非常に有用だと感じる。ぜひ今後も積極的に活用してほしい。</p> |
| 2-5-2             | <p>委員: 町長の声やお問い合わせフォームについて、すぐに回答しているのか。</p> <p>担当: 問合せ内容をそれぞれの担当課へ情報共有し、可能な限り早い回答に努めている。</p> <p>委員: 早めに回答することが大切だと考える。回答に時間がかかるのであれば、その旨をまず連絡するよう、検討してほしい。</p> <p>委員: C評価とした根拠は。</p> <p>担当: コロナ禍でタウンミーティングの実績できなかったが、投書やホームページによる意見聴取を行っているため、C評価とした。それだけでは拾いきれない情報もあるため、今後はより良い広聴活動の方法について探っている。</p>  |

(次のページへ続く)

審議内容(委員意見や質疑内容など)

|       |   |
|-------|---|
| 2-5-2 | <p>委員:投書や問合せメールはどの程度あるのか。</p> <p>担当:問合せは、電話や投書でも数回あり、メール等による問合せも、1日に数件ある。</p> <p>委員:KPI「広聴活動を周知した回数」は0回で間違いないか。</p> <p>担当:コロナ禍で、総合計画に記載のあるタウンミーティングが実施できていないことから、0回としている。</p> <p>委員:個人的な感覚かもしれないが、PTA 関連の集まりや町長が直接町民とやり取りしていることなども、広い意味では広聴活動といえるのではないか。必ずしも新しい取り組みを考えるのではなく、今ある活動を活かすことも考えてほしい。</p> <p>担当:コロナ禍も落ち着き、令和5年度は、様々な団体で対面式の総会や会議等が実施され、そういった場を活用した広聴活動について、現在、検討している。</p> <p>委員:タウンミーティングを最終目標とするのではなく、既存の会合を活かすこともぜひ検討願う。</p> |
|-------|---|